

農業科3年生4名が、JAほこた直売所「なだろう」で販売実習をしました。

11月18日（金）に、農業科3年生の果樹を学習している4名が、JAほこた直売所ファーマーズマーケット「なだろう」で販売実習をしました。

生徒たちは、初めに、店長から、「出荷時の注意点」「売上げの多い生産者の工夫点」「お客さんへの声のかけ方」などについて説明を受けました。

その後、販売準備として、商品に傷みがないことを確認しながら値段シールを貼りました。また、店舗の出入口に商品棚を設置して、銚田二高の農場で栽培したブドウ（シャインマスカット、巨峰）、カキ、ラ・フランスをきれいに並べました。

10時30分頃に販売を開始し、生徒たちは、「私たちが栽培しました。ぜひ、買ってください」「シャインマスカットは、とても甘くできました」などとお客さんに声をかけました。

また、お客さんから「ラ・フランスの食べ頃はいつ？」と聞かれて、「3日から5日後くらいで、果実の肩（軸の周辺の盛り上がったところ）を軽く押して、耳たぶくらい軟らかさになれば食べ頃です」といねいに説明していました。

販売実習を終えた生徒は「初めは緊張しましたが、自分が説明した商品を、お客さんが買い物かごに入れていただいた時は、とてもうれしく思いました」、「『会計は、店内のレジでお願いします』と大きく書いておけば、お客さんが迷わなくてよかったと思いました」などと話してくれました。

【販売実習のようす】

1 店長から説明を受ける生徒（バックヤード）



2 商品をきれいに並べました



3 販売のようす



4 販売のようす

